



平成30年度予算を徹底調査

民生文教・総務経済常任委員会

町の予算は、一体どのように、どのくらい使われているのか。そんな疑問を問うため、3月5日、6日の2日間、事業の内容や予算の適正を各常任委員会に分かれて徹底調査しました。

民生文教常任委員会

〔重複服薬者対策〕

Q (鈴木克征議員)

重複服薬者対策業務委託料について説明をお願いします。

A (住民課)

新規事業で、複数の医療機関から同一の薬効の薬が処方されている方をレセプトにより抽出し、勸奨通知を行うことで医療費と自己負担額の抑制を図るものです。

〔障害児通所支援事業〕

Q (鈴木克征議員)

障害児通所支援事業について説明をお願いします。

A (福祉課)

就学前の子どもたちへの発達支援、障害のある子ども放課後等の居場所ということで、ニーズは非常に高まっており、サービスの申し込みが非常に多い事業です。

〔後期高齢者医療〕

Q (川島仁議員)

後期高齢者人間ドック委託料、後期高齢者医療特別会計繰出金の内容について説明をお願いします。

A (住民課)

後期高齢者人間ドック委託料は、東陽病院を含めた6機関と委託契約し、当初予算では、東陽病院を

4万3千円×40人、東陽病院以外のさんむ医療センター、浅井病院、旭中央病院、亀田健康管理センター、亀田幕張クリニックを4万2千円×25人として計上しています。

後期高齢者医療特別会計繰出金は、特別会計を設けており、一般会計から後期高齢者医療特別会計への繰入金となります。

〔図書館ギャラリー運営〕

Q (鈴木唯夫議員)

図書館ギャラリー運営事業ですが、開催数、入場者数は。

A (社会文化課)

年間4回開催し、主に横芝光町にゆかりのある芸術家や、文化財等の企画展を行っています。各回1,000人を超える入場者があり、年間4,000人を超える方が来場しています。

〔マイナンバーカード〕

Q (森川議員)

マイナンバーカードの交付率は。

A (住民課)

平成28年度の7%台から9.4%と上昇しています。しかし制度を知らないため個人情報漏れるのではと不安でカードを作って

いない人も多いと思いますので既に12桁の個人番号は付与されていることや、カードの利便性、安全性をこれからPRしていきませんか、10%台とするのは厳しいと思います。せっかくコンビニ交付という便利な仕組みがあつて負担金も払っていますので、今後課内でも研究していきます。

〔がん検診受診者数〕

Q (庄内議員)

がん検診の受診者数を教えてください。

A (健康こども課)

平成29年12月末現在の受診者数
 ○胃がん検診40歳以上
 対象数10,897人
 ・集団検診 866人
 ・個別検診 14人
 ・受診率8.1%

○子宮がん検診20歳以上女性
 対象数7,071人
 ・集団検診 1,185人
 ・個別検診 190人
 ・受診率 19.4%

○乳がん検診30歳以上女性
 対象数6,641人
 ・集団検診 2,221人
 ・個別検診 12人
 ・受診率 33.6%

○大腸がん検診40歳以上
 対象数10,897人

・集団検診 2,033人
 ・個別検診 12人
 ・受診率 18.8%
 ○肺がん喀痰検査40歳以上
 配付数293人
 ・受診者数 259人
 ○前立腺がん検診50歳以上の男性
 対象数4,266人
 ・受診者数 821人
 ・受診率 19.2%

※各種がん検診から8人のがんが発見されています。

〔老人福祉費〕

Q (山崎義貞議員)

老人福祉費は、昨年度と比べての減額予算ですが、減額理由の主なものは。

A (福祉課)

自立者デイサービス事業と自立者ホームヘルパー派遣事業の利用者が介護保険制度へ移行したことから、利用見込みが減少しました。そのため、介護予防・生きがい支援事業の委託料が減額となっております。介護認定を受けた方が介護保険制度のサービスへ移行することによる利用者の減少からの減額であり、サービス制限しているものではありません。

総務経済常任委員会

「クラウドファンディング」

Q (川島富士子議員)

クラウドファンディング活用は、

A (企画財政課)

自治体が行うクラウドファンディングで全ての寄附がふるさと納税の対象とすることができ、町の厳しい財政状況を鑑みると大変有効な手段です。また総務省も平成30年度よりクラウドファンディング型のふるさと納税を活用した地域における起業支援や地域への移住・定住を推進するとして

「予算編成の基本方針」

Q (山崎貞一議員)

予算編成の基本方針において、平成28年度当初予算90億円を

目指し、行財政改革に聖域を設けずに取り組み」こととなっていました。平成30年度当初予算は103億3千5百万円であり、この目標が達成できない状況になっております。その要因を伺います。

A (企画財政課)

平成30年度予算における主たる増加要因は、本庁舎北側車庫棟改築事業や地域振興基金への積立金文化会館の空気調和設備機能回復

「合併浄化槽転換工事」

Q (野村議員)

小田部住宅の合併処理浄化槽転換工事の関係で、流末整備工事について今後のスケジュールを教えてください。

A (都市建設課)

平成30年度については、測量・設計を行う予定です。現在は小田部住宅から海老川沼に向かっている道路にヒューム管を埋設し、海老川沼に放流していますが、昭和45年頃に整備されたもので老朽化しているため、平成30年度以降に

「町道の舗装修繕」

Q (齋藤議員)

町道の舗装修繕の基準は、平成25年度に町道72路線、延長89キロメートルの路面性状調査を実施し、このデータを基に舗装修繕計画を策定して、路線ごとに優先順位を決めAグループ5年間Bグループ8年間Cグループ10年間で舗装修繕を行う計画です。平成30年度は大幅に予算を確保した事より舗装修繕を積極的にを行う計画です。

「町職員研修」

Q (齋藤議員)

町職員研修の内容についてと、行政暴力対応はどのようにしているのか。

A (総務課)

平成29年度の研修実績は、市町村アカデミーや自治研修センター以外に町単独研修を行っています。危機管理研修としては、町職員全員を対象にさすまたの研修を実施しました。

「多面的機能支払交付金」

Q (鈴木和彦議員)

多面的機能支払交付金事業について、今年度は126万4千円の増額となっています。今現在何地区が多面的機能支払交付金を利用しているのか、また、今年度126万4千円を見積もってあるという事は、活動地区が増えているのかを教えてください。

A (産業振興課)

平成29年度当初は、12地区で、西高野地区と鳥喰上地区が取り組みを始めたため14地区となりました。現在の取組面積は、929ヘクタールで当町の総面積の13.8%が取組面積です。また、農用地面積の26.4%ということで、農用地面積の約4分の1が多面的機能支払交付金で活動しています。

「道路改良工事」

Q (宮園議員)

①町道1の7号線(寺方地先他、栗島橋取り付け道路) ②町道1の8号線(横芝地先、旧1号線・森川スタンド東側) ③町道1の9号線(横芝地先、旧1号線・森川ス

タンド西側) ④町道1の14号線(北清水・木戸地先、清長大橋取り付け道路) 道路改良工事は、いつ完成するのかお伺いします。

A (都市建設課)

①未定です。②早ければ平成31年度完成予定です。③平成30年度完成予定です。④県道横芝停車場白浜線までは平成30年度完成予定です。

「広報よこしばひかり」

Q (秋鹿議員)

広報よこしばひかりの広告欄に空きが目立つことをどのように考えているか。

A (総務課)

申請のありましたものについて掲載している状況ですので、広報等で募集の掲載をしたいと考えております。

Q (秋鹿議員)

スマホ対応のホームページを作る考えはあるのか。

A (総務課)

スマホ対応は今後検討していきたいと考えております。

「環境防災課」

Q (環境防災課)

不審な車両を撮影し、警察と協議、調査しました。ある一定の効果は出ていると思います。

